

NIE
実践校から
〈1〉

推進協議会

平成28年度の終了を前にした3月27日、「第3回大阪NIE推進協議会」が日経新聞大阪本社で開催され、この1年間NIEの実践に取り組んできた小・中学校の教諭らがその内容を報告した。

活動報告に参加したのは、大阪市立西天満小▷同東粉浜小▷同緑中▷同咲くやこの花中▷同鶴橋中▷清風中▷大教大附属池田中▷島本町立第一中の校長や担当教諭8人。

主体的で深い学びが必要とされる教育現場。新聞をたたき台に討論を重ねたり、実社会と教科書での授業を“つなく、実践を行うなど、各校がバラエティーに富んだ授業を行っている。

新聞を活用する環境づくりについて、「図書室よりも生徒達に近い教室の前に置くと新聞に触れる機会が増えた」（西天満



新聞記事をきっかけにコンサートが開催されたNIE授業。児童と保護者約60人が鑑賞した。平成28年9月、東粉浜小学校（同校提供）

大阪の8校 新聞学習の成果報告

小) や、「他校での討論会に参加してみた」（清風中、鶴橋中) などの報告があった。

また経済産業省のエネルギー教育モデル校事業の指定を受けている東粉浜小では、「エネルギーについての勉強に新聞を利用した」といい、一例として企業の協力を得て地球温暖化防止の一環として近年取り上げられ

ることの多い水素自動車を走らせる、というユニークな学習の実践を紹介した。

一方で悩みも。「新聞の切り抜きは、生徒の興味が同じ記事に集中してコピーだけでも大変だった」（咲くやこの花中) という苦労話や、教員育成、教える側の継続性などについて課題や対策の話も相次いだ。